

多職種連携による在宅透析医療は、患者が自宅で安全かつ安心して透析治療を継続するために非常に重要で、多くの専門職がそれぞれの専門性を活かし、患者とその家族をサポートする。

本特集では、在宅透析として在宅血液透析(HHD)から腹膜透析(PD)までを対象とし、「多職種連携による在宅透析医療—コメディカルの役割」と題して、在宅透析医療における多職種、とくにコメディカルの専門的関与と連携のあり方を明らかにすることを目的とした。在宅医療の安全性を高める遠隔医療(リモートモニタリングおよび遠隔管理)は近年、長足の進歩を遂げているが、その活用現状と今後の展望を解説いただいた。超高齢社会に突入したわが国において、医療従事者の働き方改革が進むなかで、医師のみならず、看護師、臨床工学技士、薬剤師、理学療

法士、管理栄養士といったコメディカルの果たすべき役割は、これまで以上に重要性を増している。

多職種連携のポイントとして、情報共有、目標共有、役割分担、定期的な会議・カンファレンス、緊急時の連携体制、患者・家族中心のケア、地域連携が重要となる。在宅透析医療は、患者が住み慣れた自宅で療養できるという大きなメリットがある一方で、多くの専門職による連携が必要不可欠である。それぞれの専門職が緊密に連携し、患者とその家族を支えることで、より質の高い在宅透析医療が提供される。

この特集が、在宅透析医療に関わるすべての職種の理解を深め、多職種連携が向上して、在宅透析医療のいっそうの発展に繋がることを期待している。

(山下芳久)

2025年(Vol. 41)特集のご案内

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| No.① 透析患者の糖尿病治療—2025 | No. 6 透析患者の泌尿器科疾患に対応する |
| No.② 透析患者の皮膚を守る カラーでみる | —泌尿器科専門医との連携 |
| No.③ 透析患者の骨粗鬆症と骨折を理解する | No. 7 外来透析患者の定期検査+結果の評価 |
| No.④ 長期透析の現況・課題と対策 | と対応〔増刊号〕 |
| No.⑤ 多職種連携による在宅透析医療 | (既刊は○) |
| —コメディカルの役割 | |

臨牀透析® Vol.41 No.5

© 2025年5月10日発行
定価：2,860円
(本体2,600円+税10%)

- ・2025年 年間購読料(増刊号含む13冊, 税込)
冊子版 39,050円
電子版(個人のみ) 39,050円
冊子版+電子版(個人のみ) 44,550円
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也
発行所 株式会社 日本メディカルセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル
営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904
編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377
e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL https://www.nmckk.jp
印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2025, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541